

3月のどきどき

祝 卒園・卒業

3月。町内の園や学校で卒園・卒業式が執り行われました。

およそ180名の子どもたちが、学び舎を旅立つ時を取材した様子を、あびらチャンネルで放送中です。涙も笑顔も一つひとつが思い出になり、4月からの新しい生活が、思い出として刻まれていくのでしょう。



安平町発祥のアイスゲットに80名が参加

4日、スポーツセンターで第11回安平町アイスゲット大会が行われました。

アイスゲットは、靴を履いて氷上で行うスポーツで、相当の体力が必要です。今年の子どもと一般合わせて9チームが出場。子どもの部は遠浅の11びきわんちゃん、一般の部は宮崎ファームの優勝で幕を閉じました。



結成まで2年

安平第3自治会に町内で15団体目となる自主防災組織が結成され、7日、瀧町長より認定書が手渡されました。

「静かな所ではあるが、有事に備える取組みには大変熱心な地区。高齢者や独居世帯も多く、みんな積極的だったが、結成までに2年を費やしてしまった。役場の協力もあって、その分、しっかりと組織が結成できたと思う」と同自治会山口会長と近藤副会長は口を揃えて話していました。



早来地区の歴史を発表

9日、早来小学校の4年生27名がデイサービスセンターサツクルを訪問。

授業で作成した早来地区の歴史の紙芝居を施設利用者の方々に見てもらおうと企画されたものです。

発表は6つの班に分かれて行われ、早来の地質や馬車鉄道など様々なテーマについての紙芝居を披露。

発表を聞いた施設利用者からは「凄く良い」「懐かしかった」などと話し、発表を行った児童に拍手が送られました。



特別ゲスト登場に感激

9日の放課後スケート教室に、兄弟で活躍する安平町出身のスピードスケーター中村駿佑選手と隼人選手が、16日には奨太選手がゲストとして登場し、スケートの基礎を伝授したり子どもたちとリレーなどで交流。参加していた子どもたちは、「かつこいいい」「また来てね!」と、思わぬゲストに大喜びの様子でした。

